　　　第10回 日本褥瘡学会　在宅褥瘡セミナー　栃木県

　　　　　　　 主催；日本褥瘡学会関東甲信越地方会栃木県支部

　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　後援；日本看護協会,日本訪問看護振興財団,全国訪問看護事業協会

　　　　　　　　　　　日本介護支援専門員協会,日本薬剤師会,日本病院薬剤師会

**日時　：　平成28年11月23日（水曜日）　9時00分～16時30分**

**会場　：　とちぎ健康の森**

プログラム

**8：45　　　　　 受付開始**

**9：00～9：05 開会あいさつ**

**9：05～10：05 講義①　褥瘡の褥瘡発生とアセスメント**

**佐野厚生総合病院　皮膚科　　　　　　　　　　田村　　政昭**

**10：05～10：10 休憩**

**10：10～11：10 講義②褥瘡の予防と管理：スキンケア**

**JCHOうつのみや病院　看護部 　　　　　　小川　　洋子**

**11：10～11：15 休憩**

**11：15～12：15 講義③　褥瘡の予防と管理：栄養**

**自治医科大学附属病院　臨床栄養部 　　　　　椎名　美知子**

**12：15～13：15 昼休み**

**13：15～14：15　 講義④　在宅における褥瘡管理の推進**

**とちぎ訪問看護ステーションおやま　所長　　　　　　　永井　　恵子**

**14：15～14：20 休憩**

**14：20～15：00 講義⑤　褥瘡の予防と管理：圧迫・ずれ力とリハビリテーション**

**自治医科大学附属病院リハビリテーション部　　寺門　　大輔**

**15：00～15：05 休憩**

**15：05～16：25 講義⑥　褥瘡の治療自治医科大学　皮膚科 　前川　　武雄**

**16：25～16：30 閉会のあいさつ**

当日参加費 ： 1,000円(受講証発行代別途；詳細については3ページ参照)

定員 ： 300名（先着順）

対　象 ： 褥瘡ケアや治療に興味を持たれている方は、どなたでも参加可能です。

※『在宅褥瘡予防・治療ガイドブック　編集：日本褥瘡学会　照林社　定価￥3,200＋税』をテキストとして使用いたしますので、ご持参ください。お持ちにならなくても聴講は可能です。

※受講証を希望されない方は、午前のみ、午後のみの聴講が可能です。

**＜　お知らせ　＞**

１．在宅褥瘡管理者について

平成26年度の診療報酬改定において、在宅における褥瘡対策の推進を目的に　『在宅患者訪問褥瘡管理指導料　750点』が新設されました。本セミナーは、「在宅褥瘡管理者」の資格として必要な、日本褥瘡学会等が行う在宅褥瘡に関する講習に該当します。本セミナー後にお渡しする受講証は 平成26年4月改定診療報酬より新設の『在宅患者訪問褥瘡管理指導料　750点』の在宅褥瘡管理者の届出に必要です。

※在宅褥瘡管理者を取得するには、本セミナーなど日本褥瘡学会等が行う在宅褥瘡に関する講習（6時間以上）の受講と症例報告5症例の演習が必要になります。

［在宅患者訪問褥瘡管理指導料　算定要件］

1. 当該保健医療機関に以下の3名から構成される在宅褥瘡対策チームが設置されていること。

ア．常勤医師　　イ．保健師、助産師、看護師、又は、准看護師　　ウ．常勤管理栄養士（診療所は非常勤でも可）

1. 在宅褥瘡対策チームのア又はイ（准看護師を除く。）のいずれか１名以上については、以下のいずれの要件も満たす在宅褥瘡管理者であること。

ア．5年以上医師又は看護師として医療に従事し、褥瘡対策について1年以上の経験を有する者

イ．在宅褥瘡ケアに係る所定の研修を終了している者

1. 在宅褥瘡チームは、以下の内容を実施すること。
2. 初回訪問時に、在宅褥瘡管理者を含む在宅褥瘡対策チームの構成員が患家に一堂に会し、褥瘡の重症度やリスク因子についてのアセスメントを行い、褥瘡の指導管理方針についてカンファレンスを実施し、在宅褥瘡管理計画を立案する。
3. 在宅褥瘡対策チームの各構成員は、月1回以上、計画に基づき、適切な指導管理を行い、その結果について情報共有する。
4. 初回訪問後3月以内に、褥瘡の改善状況、在宅褥瘡診療計画に基づく指導管理の評価及び、必要に応じて見直しのためのカンファレンスを行う。
5. 1年間のケアの実績を報告する。

**２．日本褥瘡学会在宅褥瘡予防・管理師について**

日本褥瘡学会では、褥瘡に関する予防、医療の進歩を促し褥瘡医療の水準を向上させ、国民の福祉に貢献することを目的として、認定制度を設けております。認定資格の一つに日本褥瘡学会在宅褥瘡予防・管理師（以下在宅褥瘡予防・管理師と略記）があります。これは在宅療養における褥瘡の予防、治療の啓発、向上をはかるために別に定める日本褥瘡学会認定師（以下認定師と略す）と連携を保ちながら、在宅における褥瘡の予防、治療の向上をはかることを役割としています。申請資格は、

(1) 看護師、医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、介護福祉士の免許を有し、免許証取得後4 年以上を経過していること。

(2) 資格申請時に日本褥瘡学会正会員であること。

(3) 2 年以上在宅療養に従事し、褥瘡の予防および医療に関与していること。

(4) 在宅褥瘡セミナーを１回以上受講し、受講証明証（参加証がこれに相当します）を提出すること。などが主な要件となります（平成26 年5 月より開催された6 時間以上の在宅褥瘡セミナーを受講した場合1 回の受講で申請資格を有する）。

詳しくは日本褥瘡学会ＨＰをご覧ください。なお、認定師と在宅褥瘡予防・管理師は、疑義解釈として在宅褥瘡管理者として認められております。

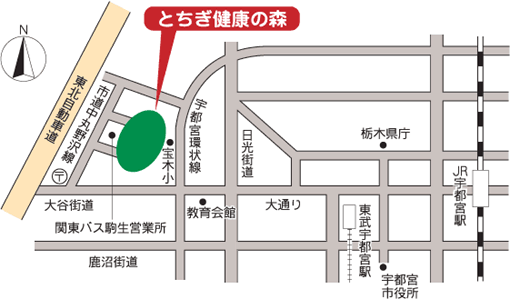
|  |
| --- |
| **受講申し込み方法** |
| 1. 日本褥瘡学会のホームページ上にある日本褥瘡学会・在宅褥瘡セミナー受講申し込みフォーム（http://www.jspu.org/jpn/event/topic3.html)に、必要事項を入力し、送信してください。  2. 申し込み時に入力したメールアドレスに「参加証（A）」が届きます。  3. ＜受講証の発行を希望される場合＞  　　　「参加証（A）」を２部印刷の上、 受講証の発行費用として　日本褥瘡学会の会員の方は1,000円、非会員の方は8,000円を「参加証（A）」１部とともに現金書留にて下記までお送りください。セミナー当日は「参加証（A）」１部と「現金書留送付の控え」の2点を会場受付で提示し、 当日参加費1,000円をお支払いください。（上記受講証発行経費は日本褥瘡学会本部にお支払頂くものでセミナー開催日として別途当日参加費を頂くものです）  ≪現金書留郵送先≫  　 〒169-0072東京都新宿区大久保2丁目4番地12号　新宿ラムダックスビル  　　 　(株)春恒社　学会事業部内　日本褥瘡学会事務局  4. ＜受講証の発行を希望されない場合＞  　　 「参加証（A）」を１部印刷の上、 セミナー当日に「参加証（A）」を会場受付で提出し、当日参加費　1,000円をお支払いください。  5.　受講申し込みの締め切りは平成27年11月13日正午、受講証の発行費用のご郵送は  平成27年11月14日必着です。  **注意事項**  ・受講証は早退者にはお渡しできません。 遅刻者については、最初の演題開始から30分までに会場に入らなかった場合はお渡しできません(聴講のみは可能)。  ・キャンセルにつきましては、いかなる理由でもご返金はいたしかねますので、ご了承ください。 |

注）開催日当日から数えて10日前の正午に受講受付の締め切り、開催日当日から数えて9日前に必着で受講証の発行費用の郵送となっております。

**＜昼食会場について＞**

講堂内で飲食可能ですが、ごみの持ち帰りにご協力ください。館内にレストランがありますが、混雑が予測されますので昼食は持参して下さい。

とちぎ健康の森　アクセス



**交通機関**  
●JR宇都宮駅から関東バス駒生営業所行（約25分）、「とちぎ健康の森」「とちぎリハビリテーションセンター」又は終点下車  
●東武宇都宮駅から関東バス駒生営業所行（約20分）、「とちぎ健康の森」「とちぎリハビリテーションセンター」又は終点下車  
※駒生営業所行のバスは"10"番と表示されています。  
※バスは土・日・祝日は敷地内に乗り入れしておりませんので、関東バス駒生営業所をご利用ください。  
  
**自家用車**  
●東北自動車道宇都宮インターから約15分  
●東北自動車道鹿沼インターから約20分